

周南市美術博物館 令和6年度プログラム

今年度は、以下の2つの展覧会をお届けします。ご期待ください。

宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展

6月28日(金)～9月1日(日)

絵本作家・宮西達也は、夢や希望、そして何より「優しさと思いやり」を子どもたちに伝えたいと、40年にわたり絵本を作り続けています。幅広い世代に人気の『パパはウルトラセブン』『おまえ うまそうだな』などの絵本原画のほか、原点ともいえる学生時代の作品や創作過程なども紹介し、宮西達也の作品世界に迫ります。



『パパはウルトラセブン』
1999年 学研教育出版
©宮西達也
©円谷プロ



『にゃーご』 1997年 鈴木出版 ©宮西達也

谷川俊太郎 絵本★百貨展

9月27日(金)～11月24日(日)

詩人・谷川俊太郎は1960年代から現在に至るまで、さまざまな画家や写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきました。谷川のバラエティ豊かな絵本に共通するのは、読み手に対する希望の眼差しです。約20冊の絵本作品の原画をはじめ、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、書き下ろしのインスタレーション作品など、子どもから大人まで「おもしろく楽しい体験」ができる展覧会です。



東京会場 展示風景 (撮影:高橋マナミ)



『もこもこもこ』
(絵・元永定正)
1977年
文研出版



『おならうた』
(絵・飯野和好)
2006年 絵本館

◆都合により会期、内容等が変更になる場合があります。ご了承ください。

最新の情報は当館ホームページでご確認ください。



受賞者を一緒に
お祝いしませんか

第32回林忠彦賞の授賞式を周南市で開催！

写真の三大賞のひとつ「林忠彦賞」をより広く知っていただけるよう、これまで東京で開催してきた授賞式を、今年から周南市で開催します。

第32回の受賞作品の発表は3月上旬の予定です。今回はどんな作品が選ばれるのでしょうか。

みなさんにもぜひ一緒にお祝いしていただきたいと思います。

※授賞式の詳細については、決まり次第ホームページ等でお知らせします。

昨年の東京での授賞式の様子



林忠彦賞はこんな賞

—社会は心を撃つ写真をさがしています—

周南市出身の写真家・林忠彦の名を冠した「林忠彦賞」は、林忠彦が「太宰治」「坂口安吾」などの作品で戦後の写真界に颯爽と躍り出た、最もエネルギーに満ちた時代に照準を合わせ、「社会が求める、その時代を一番象徴する写真を選び出そう」をコンセプトとし、未来を切り開く写真家を見いだす賞です。

1991年(平成3)林忠彦のふるさとである周南市と周南市文化振興財団が創設、今回で32回を数えます。

〈選考委員(敬称略・五十音順)〉

- 大石芳野 写真家 ■笠原美智子 (公財)石橋財団アーティゾン美術館副館長
- 河野和典 編集者、(公社)日本写真協会出版広報委員 ■小林紀晴 写真家
- 有田順一 周南市美術館館長



林忠彦(1918~1990)

山口県周南市生まれ。代表作「太宰治」「織田作之助」らの作品で認められ、20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。一方で日本写真家協会の母体となる「写真家集団」発足に参加。秋山庄太郎らと二科会写真部を創設するなど、プロ・アマを越えて写真家の育成にも力を注いだ。



「太宰治」



「坂口安吾」

参加者募集

講演会

第6回きさらぎ文化祭
まど・みちお顕彰事業
「童謡を聴いてみる」

2月28日は、まどさんの命日です。今年もまどさんの童謡「そうさん」、「一ねんせいに なったら」などを聴きながら、その豊かで味わい深い人生を振り返ってみたいと思います。

日時 2/17(土)14:00~15:00

会場 周南市立徳山駅前図書館3階 交流室1

◆講師 周南市美術館館長 有田順一

◆定員 15名

※詳細は、周南市立徳山駅前図書館
(TEL0834-34-0834)までお問合せください。

参加
無料

まどさんについてのおはなし会

2月28日は、詩人まど・みちおさんの
命日です。まどさんを偲んで、
恒例のおはなし会を開催します。

日時 2月25日(日)14:00~(1時間程度)

場所 美術博物館 講座室

講師 はたちよしこ氏(詩人)

はたちさんの詩集『レモンの車輪』(銀の鈴社)の挿絵を手がけたのがまどさんです。はたちさんは、2001年、『またすぐに会えるから』(大日本図書)で第31回赤い鳥文学賞を受賞。現在、日本児童文学者協会会員。

定員 40名

※電話申し込み(周南市美術館TEL 0834-22-8880)・先着順

参加
無料

2月28日は、
まど・みちおさんの命日です



毎年恒例の「まど・みちおさん ありがとう」缶バッジをプレゼント

きさらぎ文化祭の講演会・おはなし会に参加された方、2月28日にご来館された方(先着50名様)に缶バッジをプレゼントします。

LAWSON

ローソンの
ソフトクリーム

205円(税込)

ボリューム満点 好評発売中!

ローソン徳山動物園前店 0834-32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ~!〈121〉 もんだい

詩人まど・みちおさんの初めての
詩集は、なんというタイトル?

ヒント

美博のホームページに
のっているよ



ホームページ

まど・みちお
100の世界

周南市美術博物館 常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ()内は20名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※まど・みちおさんの命日である2/28は、観覧料無料
- 休館日：月曜日※ただし、2/12開館、翌2/13休館

展示室 3 コレクション展示室

コレクション展 “The color” 2/1(木)~6/16(日)

カラフル、モノトーン、シック、ポップ。色にはさまざまな特徴があります。今回のコレクション展は色に注目して作品を展示しています。

特別展示では今年の干支にちなみ、龍に関する作品を展示しています。雪舟の流れを受け継ぐ雲谷等益(うんこくとうえき)の力強い龍の作品や、「登龍門」という言葉の由来となった、鯉が描かれている掛け軸なども展示しています。

＼ 着物の柄がカラフル! /



宮崎 進「芸人」制作年不詳 油彩・キャンバス

特別展示



雲谷等益「龍虎図屏風」のうち「龍図」江戸時代初期
※特別展示は4/29(月・祝)まで

今年の干支、
龍にちなんだ作品を
展示中

展示室 4 林忠彦記念室

日本の画家 3/31(日)まで



「鶴岡義雄」

『日本カメラ』1974年11月号に連載されたものです。

林忠彦は、撮影秘話で次のように書いています。

「日頃、“鶴さん”“鶴さん”といって親しくつきあっているが、アトリエに訪問したとたん“鶴さん”が“鶴岡さん”に変わったのは、さすがに仕事での厳しい風貌に変わったせいだろうか。バックの絵は、パリで評判をとり、向こうの有名なサロンの予約がきまっている大作である。

シャレものらしく、ひじょうにリラックスした姿を絵の前で撮ってみた。油彩の反射をさけるため、フラッドランプ2灯をバウンスさせ撮影した。」

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は3/31(日)まで

月刊保育絵本「こどものせかい」に掲載されたまどさんの詩を紹介しています。

1955年(昭和30)創刊の「こどものせかい」は、キリスト教児童文学・カトリック系児童出版社の至光社から出版されています。

至光社の武市八十雄(たけいち・やそお)は、「なれることへの おそろしさ」と題して絵本への想いを次のように書いています。

「なれてしまうことはおそろしい。えらそうなことを云っても、自分をとりまく環境にいつしか飼いならされていくのに驚くことがある。幼児は美しい色、美しい音に囲まれた環境におきたいものである。そしてそのことから新鮮な感動が湧出するに違いない。われわれおとなでもそうである。絵本はそんな人たち—おとな・子ども—の出会いの場であろう。」

徳山の歴史 特設コーナー

「ぞうがやってきた!」 3/31(日)まで

徳山動物園にスリランカゾウのミランダとナマリーがやってきて、10周年を迎えたことを記念し、特設コーナーでは、幕末に日本にやってきたゾウのことを伝える錦絵を展示しています。

見知らぬ国からやってきた珍しい動物を見た当時の人たちは、どのように思ったのでしょうか。



初めてみた
ゾウ



こちらぜひ
手にとってお読みください。
展示室中央のケースに展示中の
「防長絵図」と合わせてみると
より楽しめます。

「徳山にもぞうがやってきた!？」 紹介資料

江戸時代半ば、享保13年(1728)6月、長崎にゾウがやってきました。当時の将軍、徳川吉宗へ献上のため江戸に向かったゾウは、山陽道を通り、周南のあたりも通過しています。徳山藩の記録「御蔵本日記」(山口県文書館蔵)をもとに当時の様子を紹介しています。

周南市美術博物館 その他の2月の展覧会 9:30~17:00(入館は16:30まで)

観覧無料

- 第49回山口県写真作家集団会員展 2/10(土)~12(月・休)【展示室1】
- アトリエ陽だまり・グループ万葉会水彩画展 2/16(金)~18(日)(最終日は15:00終了)【展示室1・2】
- 第17回山口県書を楽しむ人たち展 2/23(金・祝)~25(日)(最終日は15:30終了)【展示室1・2】

美博クイズ~!〈121〉 こたえ

『てんぷらぴりぴり』

1968年(昭和43)に出
版されて、第6回野間児
童文芸賞を受賞したよ



まど・みちお

日通の えころじ
こんぽ

お見積り無料。まずはお電話を!

0120-154022
ひっこしはにっつう

www.nittsu.co.jp/hikkoshi/

ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

コレクション展 “The color” 2/1(木)～6/16(日)

第49回山口県写真作家集団会員展
2/10(土)～12(月・休)アトリエ陽だまり・グループ万葉会水彩画展
2/16(金)～18(日)第17回山口県書を楽しむ人たち展
2/23(金・祝)～25(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

遊 洋子作品展 ～キナガナエカキ～ ～3/10(日)

尾崎正章常設展「香りのある世界」 ～3/10(日)

富田東幼稚園 作品展 ～2/12(月・休)

富田東小学校 作品展 2/15(木)～3/10(日)

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

企画展 毛利家の雛まつり 2/3(土)～4/7(日)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

コレクション展 生誕150年 永地秀太展 ～3/31(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

近代美人画の系譜 ―浮世絵から日本画へ ―2/4(日)

浮世絵に見る明治の産業―大日本物産図会
2/6(火)～3/10(日)

萩博物館 ☎0838-25-6447

グジラに生かされてきた萩・山口の人々 ～3/3(日)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

狩野芳崖、継がれる想い
――悲母観音からはじまる物語
2/6(火)～3/17(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展 平安時代と王朝文学
―下関伝来の源氏物語― ～2/12(月・休)企画展 清末毛利家
―毛利一族を救った知られざる大名―
2/16(金)～4/14(日)

～ TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

■ 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■ 観覧料：一般200円(160円) 学生等100円(80円)

()内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等を所持の方とその介護の方は無料

■ 休館日：月曜日 ※ただし2/12は開館、翌2/13は休館



企画展

中・小展示室 3月10日(日)まで

遊 洋子作品展 ～キナガナエカキ～

遊洋子さんの作品はとにかく自由。絵を描くのが楽しくてたまらない気持ちがあふれています。銅版画との出会いは18歳の時。棟方志功が好きで版画をやりたいと思い、書店で『銅版画の技法』(菅野陽著)を手にしたのがきっかけでした。

東京版画研究所で学んだ彼女は、知人から重さ1トンの大型プレス機を譲り受けたのを機に、山口の地で銅版画の制作を始めました。独自に考案したさまざまな素材を使って版画の世界を広げ、生きる喜びに満ちた作品を作り続けています。



展示風景



解説をする遊さん
(天井から吊るされた作品「スカート」の前で)

遊さん 2月の
来館予定日2月6日(火)
14:00～16:00

※都合により変更になる場合があります。

常設展【同時開催】

大展示室 尾崎正章常設展「香りのある世界」

今年度の常設展は目だけでなく、五感で感じる尾崎の作品を紹介しています。4回目は香りを感じる作品を集めて展示しています。爽やかな柚の香りやパリの街角の匂いなど、作品から様々な香りを感じていただければと思います。



展示風景

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

過疎化と高齢化については、昨年末の郷土伝統芸能大会を見ていて、昔の記憶が蘇りお囃子や太鼓の音に心躍る一方、地域の祭の担い手が気がかりになった。私の育った地域の盆踊りも10年前に途絶えた。

課題はずっとそのままだが、受け入れつつ伝統芸能や地域文化事業にどう向き合うか。

少なくとも、今生まれたばかりの子供たちが大人になる20年後の未来を予想してみよう。

その時、皆さんはどこで何をしていますか。(林)

ミニコラム
ガス燈

令和6年は、誰もが予想もしない出来事の連続での幕開けとなった。

予想できなかった事とは反対に、予想はできていたが未だ成果が見えない社会問題がある。少子高齢化と過疎化の問題である。合計特殊出生率が二人台に回復すれば、少子高齢化に歯止めがかかる。40年以上二ニュースで同じ内容を伝え続けている。私自身も母は3姉妹、私は2人姉妹、娘は一人っ子と典型的少子化モデルである。ただ、振り返ると子育て環境、経済状況によりこれが精一杯だった。今後の子育て政策の充実を願うばかりである。